

HAIGE エンジン式水ポンプ HG-DP25F クイックガイド

改訂版①

燃料 無鉛レギュラーガソリン

用途 水の給排水(海水不可)

 エンジンオイルは
入っていません。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドと WEB 取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
カラー版のWEB取説
をご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュー
トラルの取組の一環として、紙の取扱説明
書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防
ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす
危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 この表示の欄は「死亡または重傷を
負う恐れがある」内容です。



注意 この表示の欄は、「軽傷、物的損害、故
障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明
しています。



このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」
内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく
「**強制**」内容です。

日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

警告（製品に係る安全事項）



禁止

燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆
発の危険があります。

燃料の漏れが見受けられたら、使用しないでくださ
い。

エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれ
ています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い
毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。

排ガスがこもる場所では使用しないでください。排
気ガス中毒になる危険があります。

本機の周囲を囲ったり、箱等をかぶせて使用しない
でください。

雨や雪がかかる所でエンジンをかけないでくださ
い。

車載したまま使用しないでください。

自動車の車内やトランクにエンジンを載せたまま車
両を放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の
危険があります。



強制

自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜いて
ください。振動等により燃料が漏れることがありま
す。また、ロープ等でしっかり固定してください。

給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認
してください。燃料は非常に引火しやすく、気化し
た燃料は爆発の危険があります。

給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください
。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分して
ください。

燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えて
ください。衣服へ引火する危険があります。

給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行っ
てください。引火の恐れがあります。

給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないよう
にしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、
漏れることがあります。

燃料タンクキャップは確実に閉めてください。運転
中にこぼれると火災の恐れがあります。

運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。

⚠警告（製品に係る安全事項）

 禁止	エンジンが熱いうちは、給油しないでください。	 強制	点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
	燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。		使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
	運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。		ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
	換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。		エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
	エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。		点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
	改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。当社の保証サービスは一切受けられなくなります。		点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
	正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。		点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部の温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
	未成年者の単独使用は禁止です。保護者等の監督下で作業してください。		エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
	成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、自己判断での使用をしないでください。		周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。
	運転中は点検整備を行わないでください。事故の恐れがあります。		運転前点検を実施してください。
	ガソリンや燃料油などの引火性液体を吸い込まないでください。火災や爆発を起こし、重傷を負う危険性があります。		労働安全衛生規則、消防法、電気事業法に従ってください。

⚠注意（製品に係る安全事項）

 禁止	本機は、水の給排水をさせることを目的に作られています。他の用途での使用は想定されていません。絶対に、目的外では使用しないでください。	 強制	燃料は無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
	水以外は吸水しないでください。		水平で安定した場所に設置してください。
	海水、泥水、飲料、酸、化学溶液、または腐食を促進するその他の液体を吸い込まないでください。故障の原因になります。		使用できる水の温度は5℃～40℃です。
	燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。		送水ホースは必ずホースバンドで固定してください。噴き出す水の勢いで送水ホースが暴れたり、外れたりして危険です。
			呼び水は必ず入れてください。

⚠注意（製品に係る安全事項）

 強制	本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。	 強制	定期点検整備を行ってください。
	危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。		長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
	持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。		給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
	ご使用時は、本機を建物や他の機器から少なくとも1m離れた所でお使いください。エンジンがオーバーヒートする可能性があります。		部品交換は、純正部品を使用してください。
	使用後はポンプ内の水を排水してください。水が凍結すると膨張してポンプを壊す恐れがあります。		本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。
	使用後はポンプ内の清掃を行ってください。怠ると次回使用の際不具合が出る恐れがあります。		定期点検整備を行ってください。
	シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。		子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

⚠警告（作業に係る安全事項）

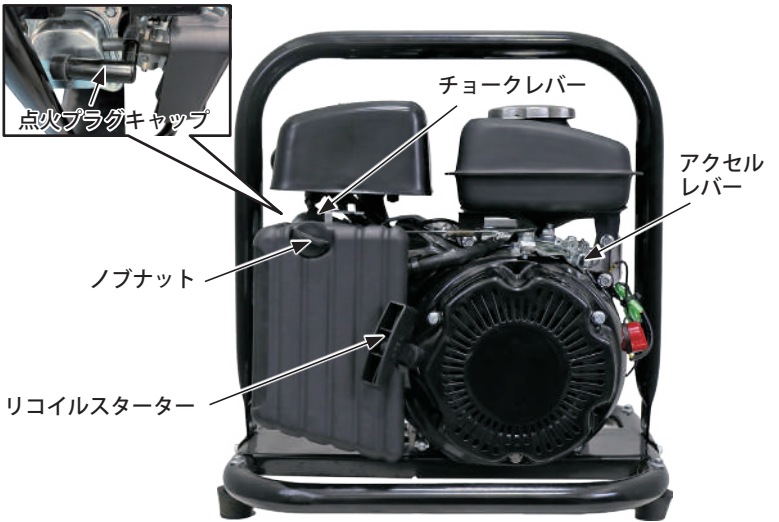
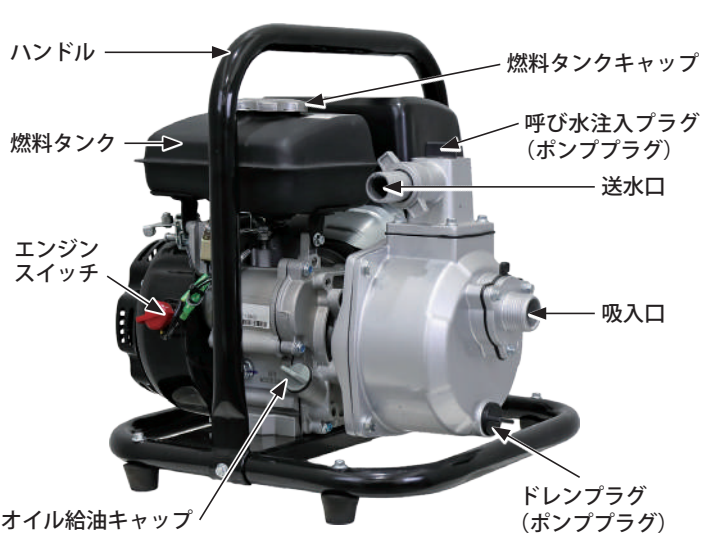
 禁止	身体の調子が悪いときや、判断力に影響するような酒類を飲用、または薬物を服用しているときは、使用しないでください。	 強制	適切な間隔で休憩をとってください。
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。		本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
	燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。		持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。
	30秒以上の空運転はしないでください。ポンプの故障の原因となります。		

⚠注意（作業に係る安全事項）

 禁止	エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。	 強制	長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
---	------------------------------	--	---

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体		B. ハンドル	
C. ジョイントカップリング×2	D. カップリングパッキン×2	E. ボルト	F. ナット
G. タケノコニップル×2	H. ストレーナー	I. ホースバンド×3	
J. オイル給油漏斗★		K. 工具	

★印はサービス品です。予告なく同梱終了になる場合があります。ご了承ください。
※製造時期により仕様変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

■ご用意いただくもの 運転する場合に必要なもの

- ・無鉛レギュラーガソリン
- ・4 ストロークエンジンオイルSAE10W-30
- ・漏斗（じょうど）

主要諸元

モデル名	HG-DP25F
呼径（Φ）	25mm
吸入口径	25mm/1.0inch
送水口径	25mm/1.0inch
適応ホース内径	25.4± 1.0mm
全揚程（※1）	約30m
吸入揚程（※2）	約7m
最大吐出量	100L/分（高さ0m時）
エンジン形式	空冷4ストローク 単気筒 OHV
総排気量	79cm ³
馬力	最大：2HP
最大出力	1.5kW/3600min ⁻¹
始動方式	リコイルスターター
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	1.5L
エンジンオイル	SAE10W-30 SJ
エンジンオイル容量	0.35L
互換点火プラグ	BPR6HS (NGK)

※1 水面から水を送れる高さの最大
※2 水面からポンプまで高さの最大

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

運転前の準備

⚠注意

- ・各作業は必ずエンジンを停止した状態で、平坦な安定した場所に設置して行ってください。
- ・各ホースは必ずホースバンドで固定をしてください。特に送水ホースはしっかり外れないようにホースバンドで固定してください。噴き出す水の勢いで送水ホースが暴れたり、外れたりし危険です。
- ・送水ホース、吸水ホースは口径のあったものをご使用ください。

ハンドルの取付け

⚠注意

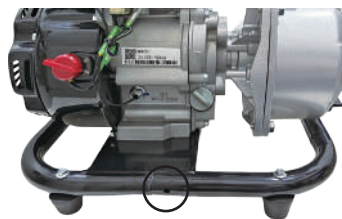
組み立て作業は必ず2人で行ってください。ネジを締め付ける人と別に、ハンドルを押さえる人がいると作業がスムーズです。

8mmと10mmのスパナをご用意ください。

- 1** 作業しやすいように、本体を安定した台の上に載せます。



- 2** 本体下部中央の取付穴と、ハンドルの取付穴を合わせます。



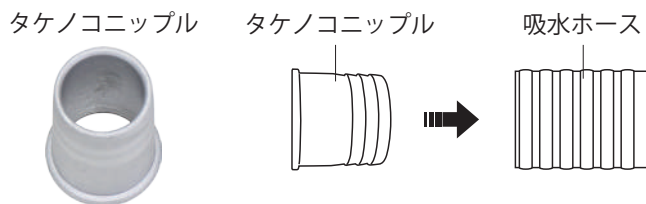
- 3** 左右のネジをそれぞれ仮止めします。その後本締めしてしっかり固定します。



※ネジを締め付ける際は、反対側のナットをスパナなどで押さえ、空回りしないようにしながらネジを締め付けてください。

吸水ホース（サクションホース）の取付け

吸水ホース（サクションホース）をご用意ください。吸水ホース（サクションホース）は、ポンプ吸水に適したものをご使用ください。柔らかいホースを使用されますと、水を吸い上げませんのでご注意ください。

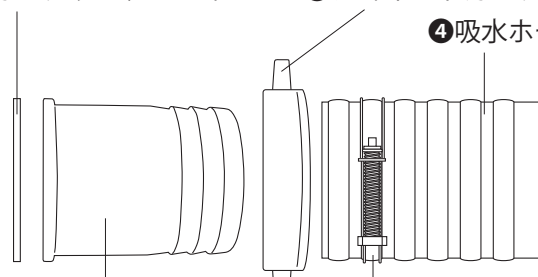


⚠警告

ホースをホームセンター等でご購入の際は、店員さんに「ポンプ吸水用サクションホース」とお伝えください。また、ホース購入時に部品の「タケノコニップル」を持参し、サイズを確認することをおすすめします。ホースにタケノコニップルが簡単に入るようであれば、サイズが合いません。通常はホースをお湯や熱風で温め、柔らかくしてからタケノコニップルを挿込みますのでスムーズに入るようであれば使用不可です。



- 3** カップリングパッキン **2** ジョイントカップリング



- 1** タケノコニップル **5** ホースバンド

- 1** タケノコニップルに**2** ジョイントカップリングを通す
3 カップリングパッキンをはめる
4 吸水ホースに**5** ホースバンドを通す
1 タケノコニップルに**4** 吸水ホースを挿込む

- 1** ジョイントカップリングにタケノコニップルを通し、カップリングパッキンをはめます。



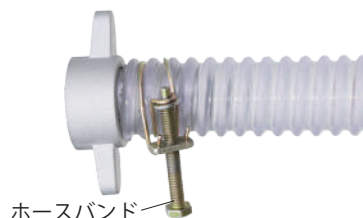
- 2** 吸水ホース(サクションホース)をお湯につけ柔らかくします。ドライヤーの熱風を当てても柔らかくなります。



⚠注意

やけどに十分ご注意ください。

- 3** 素早くホースにホースバンドを通し、タケノコニップルにホースを奥までしっかり挿込みます。



- 4** ホースバンドを10mmのスパナまたはマイナスのドライバーで締付けます。

- 5** 本体吸入口にカップリングを合わせ、時計回りに回しねじ込みます。



- 6** 反対側の吸水ホース(サクションホース)を熱湯につけ柔らかくします。ドライヤーの熱風を当てても柔らかくなります。

- 7** 素早くホースにストレーナを挿込み、ホースバンドを締付けます。

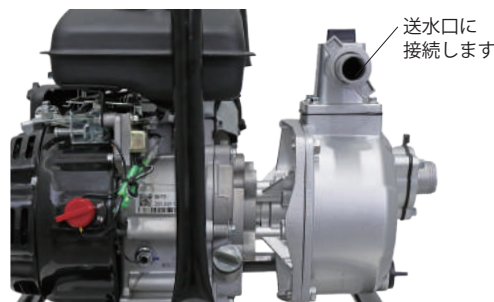


⚠注意

ストレーナは必ず装着してください。装着しないで使用すると土砂やゴミその他の異物などを吸い込み、本機が破損する恐れがあります。

送水ホースの取付け

送水ホース(排水用)をご用意ください。ホースをホームセンター等で購入の際は、部品の「タケノコニップル」を持参し、サイズを確認することをおすすめします。



- 3** カップリングパッキン **2** ジョイントカップリング **4** 送水ホース **1** タケノコニップル **5** ホースバンド

- 1** タケノコニップルに**2** ジョイントカップリングを通す
3 カップリングパッキンをはめる
4 送水ホースに**5** ホースバンドを通す
1 タケノコニップルに**4** 送水ホースを挿込む

- 1** ジョイントカップリングにタケノコニップルを通し、カップリングパッキンをはめます。



- 2** 送水ホースにホースバンドを通します。



- 3** タケノコニップルにホースを奥までしっかり挿込み、ホースバンドを10mmのスパナまたはマイナスのドライバーで締付けます。



- 4** 本体送水口にジョイントカップリングを時計回りに回しねじ込みます。





※送水ホースが付いていてジョイントカップリングが回しにくい場合は、先にジョイントカップリングを送水口に取付けた後に送水ホースを取付けることも可能です。

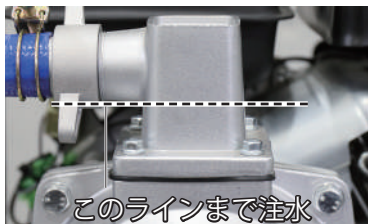
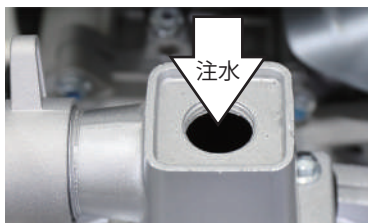
呼び水を入れる

運転前に必ずポンプ上部の呼び水注入口から水を注入します。

⚠️ 注意

呼び水を入れずに運転されるとシール部分が焼損し、ポンプ故障の原因となります。万が一呼び水を入れずに運転をした場合は、すぐエンジンを停止し、ポンプ部の温度が下がってから注水してください。

- 1 水平で安定した地面に本機を設置します。
- 2 呼び水注入プラグ（ポンププラグ）を反時計回りに回し、呼び水をポンプの送水口下面まで注入します。



⚠️ 注意

呼び水が不足すると、自吸性能が低下します。

運転前の点検

⚠️ 警告

- | | |
|---------------|--|
|
禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。 ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。 ・運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。 |
|
強制 | <ul style="list-style-type: none"> ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。 ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。 ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。 ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。 |

⚠️ 注意

- | | |
|---------------|---|
|
強制 | <ul style="list-style-type: none"> ・燃料給油キャップは確実に閉めてください。 ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のいないところに保管してください。 ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。 |
|---------------|---|

エンジンオイルの給油

工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。
下記要領で給油してください。

必ず給油してください。また、工場で試運転をしているため、若干オイルが内部に残っている場合がありますので、給油の際は、こまめにオイルゲージで確認しながら給油してください。

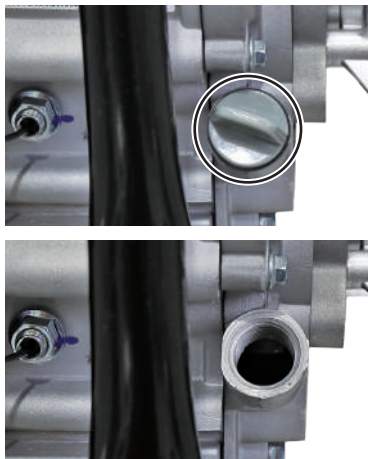
- 1 エンジンオイルを準備します。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30 ・寒冷地は SAE5W-30
オイル容量	0.35L

⚠️ 注意

- ・エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。エンジン不調になる恐れがあります。
- ・こぼれたオイルは必ず拭き取ってください。

- 2** 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを取外し、ゲージを布などで拭取ります。



- 3** オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度外します。

- 4** オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



適正量はゲージHとLの中央です。

- 5** オイル量が少ない時は、新しいオイルを補給します。その後手順3、4で再び適正量が確認します。

- 6** オイルを適正量給油し終わったら、オイル給油キャップをしっかり締めます。

燃料の給油

工場出荷時、燃料は入っていません。
下記要領で給油してください。

- 1** 燃料を準備します。

使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
タンク容量	1.5L

- 2** 燃料タンクキャップを開け、液面を見ながら少しずつこぼさないように給油します。



上限を超えないように給油します。
※上部ギリギリまで給油しないでください。



- 3** 給油が終わったら燃料タンクキャップをしっかり閉めます。

エアクリーナーの点検

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがあるときは清掃を行ってください。

- 1** エアクリーナーカバーのノブナットを取外し、カバーを取外します。



- 2** 汚れを確認します。



- 3** 汚れがある場合はエアフィルタを取外し、汚れをエアブロー等で吹き飛ばします。汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。

運転操作の仕方

警告



禁止

- 燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。



強制

- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

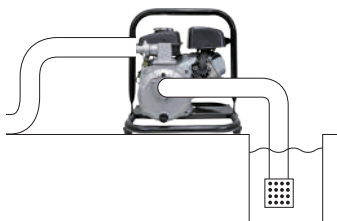
工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。
下記要領で給油してください。

- 1 エンジンをかける前に、必ず呼び水を規定量注入してください。(「呼び水を入れる」を参照)

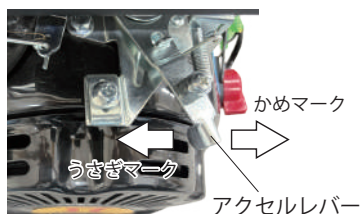
⚠注意

呼び水を入れずに運転されるとシール部分が焼損し、ポンプ故障の原因となります。万が一呼び水を入れずに運転をした場合は、すぐエンジンを停止し、ポンプ部の温度が下がってから注水してください。

- 2 ストレーナを水に沈めます。



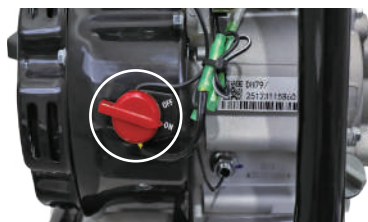
- 3 アクセルレバーを、高速(うさぎマーク🐰)と低速(かめマーク🐢)の中間にします。



- 4 エンジンが冷えているときは、チョークつまみを左いっぱい(閉)にします。



- 5 エンジンスイッチを「ON」にします。



- 6 リコイルスターターを重くなる所までゆっくり引き、そこからすばやく引っ張ります。エンジンがかかったらグリップをゆっくり戻します。

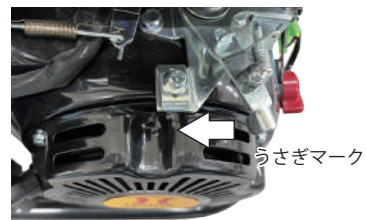
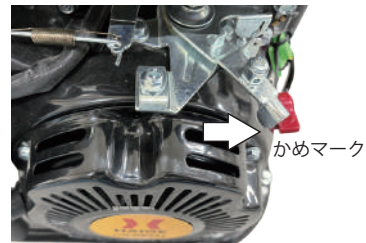


- 7 エンジンを始動後暖機運転を行い、運転状況を確認します。

- 8 チョークつまみを使用した場合は、チョークつまみを右(開)に戻します。



- 9 エンジンの回転数が安定し、アクセルレバーを低速(かめマーク🐢)から高速(うさぎマーク🐰)に操作し、滑らかに加速するようになれば暖機運転完了です。



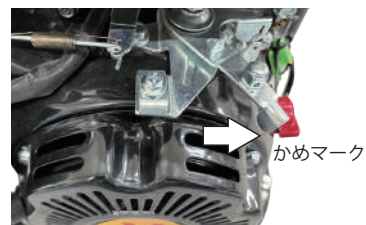
💡エンジンがかからないとき

まず、燃料が入っているかを確認ください。上記確認してもかからない場合は、点火プラグが燃料で濡れている可能性があります。下記をお試しください。

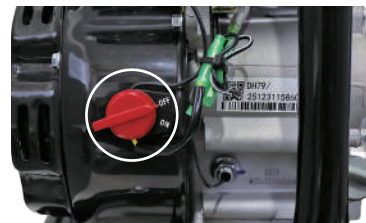
1. 点火プラグキャップを外す
2. 点火プラグを外す
3. リコイルスターターを数回引きシリンダ内を換気
4. 点火プラグを取付ける
5. 点火プラグキャップを取付ける
6. チョークつまみを右(開)にする
7. エンジンスイッチ「ON」にする
8. リコイルスターターを軽く引き、重く感じたところで一旦止め、ハンドルを一度戻してから、素早く引くとエンジンがかかります。

エンジンの止め方

- 1 アクセルレバーを低速(かめマーク🐢)にします。



- 2 エンジンスイッチを「OFF」にします。



☝ 外気温が 0℃以下の場合

水が凍結する気象条件で本機を使用した場合、ポンプケース内に残っている水が凍結し、部品が破損する恐れがあります。必ずドレンよりポンプ内の水を抜いてください。



使用方法

⚠ 警告

- 吐出口、吸入口を塞がないでください。ポンプケース内が非常に高圧、高熱になる恐れがあります。
- 自吸する際は水以外は使用しないでください。自吸に時間がかかる場合、エンジンを5分以上切って、水を追加しポンプを冷却してください。
- ポンプが高圧、高温になっているときは、ドレンやホースをあけないでください。

⚠ 注意

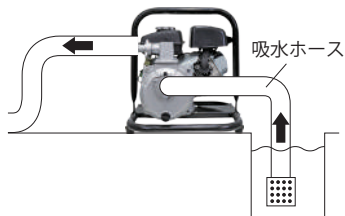
- 呼び水を入れずに運転されるとシール部分が焼損し、ポンプ故障の原因となります。
- 万が一呼び水を入れずに運転をした場合は、すぐエンジンを停止し、ポンプ部の温度が下がってから注水してください。

ポンプの使い方

- 1** ポンプケース内に呼び水が規定量入っていることを確認します。



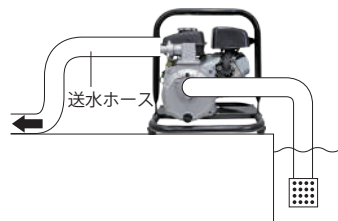
- 2** 吸水ホース(サクシオンホース)先端のストレーナが水中にあることを確認します。



⚠ 注意

水底が泥・砂状の場合、ポンプに吸入しないよう、ストレーナを水底より浮かせてください。

- 3** 送水ホース先端の排水先に、障害物などが無いかを確認します。



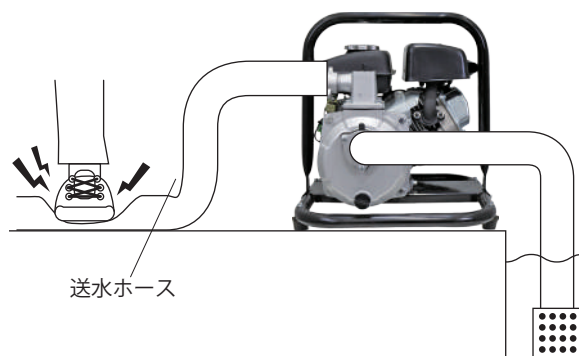
- 4** エンジンを始動します。(始動方法は運転操作の仕方「エンジンのかけ方」を参照)

⚠ 注意

- 始動直後は、エンジン各部に十分にエンジンオイルが行き渡っていませんので、急激に回転を上げないでください。
- 不必要な高回転は、エンジンポンプの寿命を短くし、故障の原因となります。

☝ ウォーターハンマー現象にご注意ください。

ポンプ運転中に送水ホースを踏んだり、物を乗せたり、送水側のバルブを急激に締め切ったりすると、瞬間的に大きな圧力がポンプケース内にかかります。これはウォーターハンマー現象と呼ばれ、ポンプ破損の原因となりますのでご注意ください。



作業を終了するには

- 1** 運転操作の仕方「エンジンの止め方」の要領でエンジンを停止します。

⚠ 注意

エンジン停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどする恐れがありますので高温部に触れないでください。

- 2** 運転後は必ずポンプケース下部のドレンプラグを外し吸入口または送水口からきれいな水で汚れを洗い流します。



外気温が 0℃ 以下の場合

水が凍結する気象条件で本機を使用した場合、ポンプケース内に残っている水が凍結し、部品を破損される恐れがあります。必ずドレンよりポンプ内の水を抜いてください。

- 3** ストレーナにゴミが付着している場合は、取除きます。

注意

燃料は劣化しますので、使用後は必ず燃料を使い切り、長期間タンクに燃料が残らないようにしてください。燃料が残っていると、次回使用時に正常にエンジンが始動しない場合があります。

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。
弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますので安心ください。
返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から 1 年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は 6 ヶ月といたします。
保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。
商品発送日より 7 日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等）
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
 - ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
 - ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
 - ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
 - ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 - ・無在庫転売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。
- また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
- 1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 - 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 - 3. 保証期間（1 年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 - 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 - 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。



〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガー株式会社 検索
<https://www.haige.co.jp/>